

# 慶應ロシア語の森 2022 ～ロズニツァ映画祭～

2022年11月20日（日）～23日（祝） 10時～18時

於：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎431教室

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、ロシア文化やロシア語に対して批判的な風潮も出てくる中、私たちが「今」ロシア語を学ぶ意義を再検討すべく、今年度も「ロシア語の森」を開催します。

今回は、観る者に事象の解釈を委ねようとする作風で、以前から日本でも注目を集めているセルゲイ・ロズニツァ監督のドキュメンタリー『肅清裁判』『国葬』『ドンバス』に、学生が主体となって日本語字幕を制作する**本邦初公開**の『マイダン』を加えた映画四作品の上映を決定いたしました。鑑賞後、学生が進行役を務めるディスカッションで、あなたの感想をぶつけてみませんか？

慶應ロシア語の森 実行委員会

作品提供：サニーフィルム

## 上映スケジュール

11月20日（日） 13:00- 『マイダン』（2時間11分）+上映後ディスカッション

11月21日（月） 11:00- 『マイダン』 14:00- 『肅清裁判』（2時間3分）+上映後ディスカッション

11月22日（火） 11:00- 『マイダン』 14:00- 『国葬』（2時間15分）+上映後ディスカッション

11月23日（水/祝） 11:00- 『マイダン』 14:00- 『ドンバス』（1時間50分）+上映後ディスカッション



## 当日の企画内容

表ページのタイムテーブルに沿って、来場者向けに映画を上映する。ロシア語を学習する学生から構成されたグループ（基本的にクラス単位）がそれぞれ一つの作品の上映進行役となる。作品が描写する歴史事象の情報調べと解説、上映後来場者を交えたディスカッションの進行、映画評の作成、俳優や監督などの調査とまとめ等を行う予定。

## セルゲイ・ロズニツァ監督について

1964年ベラルーシのバラノービチに生まれ、ウクライナ的首都キーウ（キエフ）で育つ。1987年にウクライナ国立工科大学を卒業し数学士の資格を取得する。その後、国立サイバネティックス研究所で日本語技術通訳兼科学者として人工知能の研究をしていたが、1991年のソ連崩壊の年にモスクワの全ロシア映画大学に入学する。1996年よりサンクトペテルブルク・ドキュメンタリー映画スタジオで映画製作を始め、これまで24作のドキュメンタリーと4作の長編劇映画を発表してきた。個々人や群衆に焦点を当て、カメラが写し出す事象の解釈を鑑賞者に委ねようとする作風が特徴的である。カンヌ国際映画祭やアムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭で数々の賞を受賞。



\*[監督公式ホームページ](#)を参照した。

## 今回新たに日本語字幕付きで公開する『マイダン』について

2013年から14年にかけての冬、スルジク（ウクライナ語とロシア語の混交語）飛び交うウクライナのキーウ/キエフで起きた、ヤヌコーヴィチ大統領政権に対する市民蜂起の記録。この2014年の政変はロシアによるウクライナ侵攻に代表されるその後の地域・国際情勢に大きく影響しているため、ぜひ多くの方に見てもらい、現在の状況を考えるきっかけにしてもらうことが実行委員一同の願いである。

## 注意事項

- ・当団体が出展する第64回三田祭の入場はチケット制となります。[三田祭公式サイト](#)より11月1日よりチケットの申し込みが可能となります。
- ・座席は余裕を持ってご用意いたしますが、当日混雑状況によっては教室への入場をご遠慮いただく場合があります。ご了承ください。
- ・上映中の入退室は自由です。

## その他

お問合せ先；[keiorussian2022@gmail.com](mailto:keiorussian2022@gmail.com)